

★ ★ JRKU
★ ★
2024年 第982号
4月27日

JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21
GS/ハイム博多805号
TEL 092-415-4377 FAX4399
発行人 縫 和彦
編集人 田 中 勇

4・25事故から19年！ JR九州の「今」を考える！

JR西日本での4・25事故から19年が経過しました。乗客106名と運転士が死亡、526人が負傷した「福知山線脱線事故」を私たちは忘れてはならないし、風化させてもなりません。

事故の原因はJR西日本会社の長期日勤が要因とも言われています。当時JR九州でも「見せしめ日勤」や「長期日勤」が行われていました。その後「再教育マニュアル」が作られ現在に至っています。

しかし現在、「取り扱い誤り」に対しての教育のあり方や見極めにも、現場の考えよりも本社からの意向が重視され、見極めの内容も変更される事象が発生しています。過去においても事故後、退職や離職を選ぶ社員も増えてきています。

このままの状況では、日勤教育のあり方を考えなければならないし、事故も防げません。

現在の乗務員の現状は、「BPR」や「未来鉄道」の効率化で6Bワンマン、無人駅化での運賃収受。折り返しの車両の清掃。乗泊の清掃等業務以外の作業が多数発生しています。業務以外にも年休が取れない。副業や社内副業と称してのネコカリ。新しい人事・賃金制度での勤務評価でJRk活動、社外通信研修等若い社員は業務以外での活動に休養すら取れない現状です。

**JR九州の現状「今」を考え、働きやすい職場環境と
重大事故を起こさないJR九州を創っていきましょう！**